

残りの人生も毎日を楽しんで生きていきたい

平成28年10月からご入居された

生森 美代子様

熊本地震をきっかけに85歳で入居された生森様「グランガーデン」は建った頃から見学させてもらっていて、友人も先に入居していたので、よく遊びにも来ていました。私もいつかは入居したいという気持ちがありつつも、主人が遺してくれた立派な一軒家を守りたい思いで一人暮らしを続けていました。そんな時に熊本地震に遭い、自宅が半壊してしまっただけです。瓦もほとんど落ちてしまっただけで、自宅には住めるような状況ではなかったですし、震災もあって一人暮らしの不安も大きかったので、グランガーデンへの入居を決意しました」とお話しくださいました。

入居してすぐは、マンション暮らしが初めてだったこともあり、不安もあったようですが「ここは百貨店が徒歩圏内で買い物にも困りませんし、美術館や博物館、市役所も近いので、便利がよくて快適です。何より熊本城がすぐ目の前に見えて、とても幸せですよ。今ではすっかり馴染んでいます」とのこと。

また、日々のお食事について「お料理は今でも自分で作ることもあるけれど、グランガーデンのレストランで食事をするのも楽しみの一つです。わざわざ事前に予約をする必要がないのがいいですね。バランスの取れた献立から好きなメニューを選べますし、レストランで入居者同士おしゃべりしながら過ごす時間も好きなんです」とお話しくださいました。

元々多趣味で、お茶や詩吟、和・洋裁などいろいろな習い事をされていたという生森様。入居されてからも、屋上のプラントで園芸をされたり、グランガーデンのサークル活動でコーラスや体操を楽しまれるなど、お忙しくも充実した日々を過ごしているらしいです。「先日はグランガーデンのイベントで、日帰りのバスツアーにも参加しました。入居者の皆さんと一緒に出掛けられて、とても楽しかったです。グランガーデンで暮らすことを決めて本当に良かったと思います」と笑顔で話してくださいました。

「年齢を考えると、安心して暮らせることも重要です。ここでは体調不良の時は夜間でも緊急コールを押せば、すぐに看護師さんが駆けつけてくださるので、とても心強いですね。これからも健康を第一に、残りの人生も楽しんで生活を続けていきたいと思えます」と語ってくださいました。いつも明るく、笑顔で生き生きとされている生森様を見ていると、スタッフも元気をもらえます。これからも、グランガーデンの生活を楽しんでいただきたいと思います。

